

# 福祉のかけ橋

平成9年3月号 第15号



一人暮らしのお年寄りに花鉢を贈る

## 高齢化社会云

をむかえ

南山見地区老人クラブ

連合会長 久恵 清治

今や我が国も急激な高齢化社会をむかえていますことは、ご承知のことと思えます。

そして町では、高齢者にふさわしいデイサービスセンターが建設され、四月一日からのオープンを待ち遠しく思っておられる方々もかなり居られることでしょう。

私の願いは、寝たきり、痴呆性等の介護や介助を必要とされないように、今から考えなければならぬと思っておりますが、他人事ではありません。私達も、何時かは、このような立場に立たされるかも知れません。

いつかの町報誌に、老人ホームで知り合ったお年寄りの男女が、相思相愛になり、長寿結婚されたとの記事が載っております。

いつまでも、胸をときめかせるように、気持ちだけでも若々しくありたいものです。

## 先進地視察

事務局長 高島 清典

今年度の先進地視察は、参加者十七名で、三月一日(土)金沢市三馬地区社会福祉協議会を訪問し、活動の様子を見聞してきました。

この地区は、金沢市の南西部に位置し、人口一万三千人余りで、社協の事務所と公民館が一緒になつた「みんなま会館」内には、デイサービスセンターがあつて、地区社協がこの事業(D型・八名規模)を行っています。

デイサービス(入浴と食事)は毎週三回で、看護婦・介助員・寮母・運転手など九名で対応しているとのこと。

また、隔月一回みんま「ふれあいの日」として、ボランティアによる「いきいきサロン」を開設し、一人暮らしや寝たきりの方への配食サービスを行っているほか、年中行事としてグランドゴルフ、敬老会、追悼法要、講座など、地区ぐるみの活発な活動が行われてお

り、大変参考になりました。



一人暮らし老人等

△云会長 六又流 △云

青葉グループ 武田十四子

一月、二月は「やすらぎの家」も配食サービスとなります。

当地区社協としては、困り勝となる一人暮らしの方や七十五歳以上のご夫妻を公民館にご招待し、昼食を共にして語り合う機会をつくっています。

二月十五日、一面雪景色、春日射しを思わせる澄み切った青空の中、民生委員の送迎に食生活改善グループが食材を準備し、しゃ

ぶしゃぶを楽しみました。いろんな材料が入り、フーフーとお代わりも進みます。熱々鍋もちまみち無くなら、さくら色に染まった皆さんの笑顔からは、満足感が伝わって来ました。

窓から入る日射しを受けながら、食後はボランティアと共に、フラー籠の根付けの仕上げにかかり、皆で考え、苦勞して作り上げました。数を作り、子供さんの分も持ち帰られる姿をお見受けし、親心の思いやりを感じる一時でした。楽しそうないい笑顔は、忘れられず、またの機会の励みとなりました。

「またね」と手を振り、喜んで頂けた事に、私達も幸せを感じながら家路に着きました。

花鉢贈り口王 3/6

知る葉グループのご協力で、春を告げる花、サイネリアの花鉢を、六名の一人暮らしの方に贈り慰問しました。

地域のふれあい  
三世代交流の集い

知る葉グループ山本 綾子  
第八回南山見地区三世代交流の集  
いが二月二十三日(日) 公民館主  
催で開かれました。

幼児、児童、青少年からお年寄  
りまで体育館に集まり、幾世代に  
もわたり大切に使われてきた民具  
品や薫加工品を展示し、稲藁文化  
の内容を次の世代に伝承するとと  
もに、竹トンボ、お手玉、紙人形  
等、昔の遊び道具の作り方を、地  
域のリーダー達とふれあいながら  
教わる、素晴らしい交流の場とな  
りました。

この日は、暖かい小春日和で、  
大勢の参加者がありました。  
私達ボランティアグループのマ  
スコット作りは、古着のボタンや  
布切れを再利用し、ボタンを七個  
で花の型を作り、ブローチや交通  
安全キャンペーン用のマスコット  
人形等にも利用出来るようにしま

した。

幼い子供達と一緒にふれあい、  
交流しながらの物作りは、とても  
楽しく、また、出来上がった品々  
を手に喜ぶ子供達の笑顔を見て、  
生きがいさえ感じました。

寝たきり等病障者介護者の  
リフレッシュの集い

院瀬見 田村 玉喜

去る三月十五日、木彫りの里に  
おいて、「在宅看護と家族の役割」  
と題して、公立井波総合病院より  
篠原美智子氏を講師にお招きして、  
「在宅看護者リフレッシュの集い」  
が行われました。

この「集い」は、家庭で寝たき  
り等病障者の看護に毎日当たって  
おられる方々を対象に、日頃の悩  
みや、体験等を話し合いながら、  
共に苦しみを分かち合い、日頃の  
疲れを癒していただこうとして行  
われているものです。

講師より看護の方法、各種支援  
サービス、食事の与え方、身体  
の不自由な方々の飲み物等につ  
いていろいろ教えていただいた後、  
介護者から出された質問―介護の  
技術的な問題や昼と夜との区別が  
つかなくなる病人への対応―等  
にも応じていただき、大変参考にな  
りました。

終わりに、何よりも大切なこと  
は、介護者が健康であること、共  
倒れになることなく元気で介護に  
当たってほしいと結ばれました。



ミニ託老所お世話方調理実習と  
一人暮らし老人等との会食交流

徳成 花枝

去る一月十七日、一人暮らしの方や七十歳以上の老人世帯の方々をお招きし、食改の皆さんのご協力のもと、ミニ託老所のお世話方の調理実習を兼ねた会食交流会が行われました。

食改の方をリーダーとして七品の料理をつくりました。年老いた方でも食べ易いもの、栄養のあるもの等三十品目を取り入れ、特にカルシウムが多いもの、作り易いもの、いろいろ考えました。

私達は年齢とともに骨がもろくなるので、小魚や海藻を沢山入れて作った特製の“ふりかけ”はとても好評でした。

皆さんに喜んで食べて頂き、お世話した者も、大変嬉しく思いました。  
健康には、栄養は勿論のこと運動と休養も大切だと言われており



お年寄りを囲んで

ます。このことに留意され、いつまでも元気で、楽しく、過ごしていただきたいと思えます。

八十歳以上高齢者  
嵯峨土木おねお見舞い

双葉グループ 畑 和子  
南山見地区社協さん、民生委員さん、ボランティアの皆さんとのご協力により、毎年、八十歳以上の老人の方に、歳末のお見舞いを行っています。

さっそくお見舞いのクッキーを持って、「こんにちは」と声をかけると、お家の方がでてこられ、「おばあちゃん元気ですか」と話かけると、奥の方から元気な返事と笑顔を見せて下さいました。  
「これ、地区社協からのお見舞いのクッキーです。お受け取りください」と差し出すと、ニッコリ受け取っていただき、私も嬉しくなりました。

「健康で楽しく、長生きして下さいね」と話かけ、帰ってまいりました。  
この八十歳以上老人への歳末お見舞いが、これからも、受け継がれていくことを願っています。

号数	第一五号
発行	平成九年三月号
所在	富山県井波町川原崎 南山見公民館
発行者	南山見地区社協

◎読んでら綴りましょう